

日本女性薬剤師会は、平成24年12月、薬剤師認定制度認証機構(CPC)より生涯学習研修認定制度の実施機関(CPC認証プロバイダー：G16)として認証されました。これまで弊会が展開してきた薬剤師への種々の研修に対し、評価をいただいたものと感謝申し上げます。平成25年4月に本格開講し、全国の薬剤師の生涯学習を支援・推進してまいります。男女を問わず薬剤師としての自己研鑽への支援として、最新の専門的な情報をわかりやすく解説し、科学的な考え方を学ぶことができるような通信教育講座、学術講演会、研修会等を開催してまいります。社会のニーズに応えられる薬剤師になるために、認定薬剤師を取得し、薬剤師の地位向上につなげていきましょう。

他のプロバイダー(CPCより認証を受けている)が発行する単位シールや研修手帳も弊会の認定薬剤師の申請・更新に一定条件のもと、使用することが可能ですので、今後は、日本女性薬剤師会で認定薬剤師の申請・更新をお願いいたします。

また、各団体が開催する薬剤師への各種の研修に対し、プロバイダーとして単位シールの発行を行いません。各種研修会における日本女性薬剤師会(G16)の研修シールの申請・請求も承ります。

あいさつ



一般社団法人 日本女性薬剤師会
会長 近藤 由利子

女性力を発揮できる生涯研修提供機関でありたい

全国都道府県女性薬剤師会会員の皆様には、本会の事業運営にご協力を賜り感謝申し上げます。日本女性薬剤師会は、2008年に一般社団法人となり、4年目を迎え厳しい医療環境のなかで、さらなる意識改革、存在意義と活動の明確化、社会的に認知度上げる、地域連携を深め、独自性のある活動を展開しています。

活動は、女性のライフスタイルのあらゆる場面に関わって、それぞれのステージに応じた「薬の安心・安全な使用(薬物療法の実施)」に関する的確な指導と情報提供を推進するという理念に基づいています。地域生活者の薬物療法を考える時、とくに女性の場合には、その一生を通して多様な関わり方が求められます。女性の職能を効果的に発揮するには、知識レベル等をより一層高める事が必要です。例として、離職、現職の薬剤師が自身の知識・技術のブラッシュアップを目指し、「診療ガイドライン・薬剤コース」の通信講座に多くの方が受講しています。また、国の進める「くすり・クスリ・Drug」は、こどもまで影を落とす違法な薬物乱用防止の取り組みは活動の一つです。新たに薬剤師生涯学習センターを設置し、生涯研修認定制度事業が薬剤師認定制度認証機構に認証され(G16・2012年12月14日)、生涯研修提供機関となって、社会に貢献できる薬剤師を育成するための特徴あるプログラムを提供していきます。

功労賞 平成23年度功労賞受賞者

森 栄子 (80歳) 東北ブロック：宮城県
 永年にわたり宮城県女性薬剤師会の会員として、理事として会の運営や会員の加入促進に積極的に協力し、後進の育成に尽力している。現在も相談役として宮城県女性薬剤師会の運営を指導支援する等、会の発展のために多大な貢献をしている。また、県薬剤師会においても支部役員として活躍するなど、女性薬剤師の地位向上のためにも貢献している。

浅野 照 (75歳) 関東ブロック：神奈川県
 当会の副会長、監事等役職に長年就いて、研修会には地域の女性薬剤師を多く参集し会員相互の親睦、本会の発展に尽くし、昭和42年開局当初より地域の薬剤師会においても、役員、学校薬剤師会活動、介護認定審査会委員、地域住民への健康、美容と啓蒙し多大な貢献をされ、また温かい人柄から多くの薬剤師に慕われ功績は大きい。

山田 満喜 (74歳) 北信越ブロック：長野県
 誰にも気さくに声をかけられ、各年代の方々からも慕われているお人柄で、温厚な性格と愛情あふれる情熱で、後輩の指導・育成にも尽力されました。現在も本会の各種事業に積極的に参加・協力され、会の運営にも大きく貢献されています。

山中るみ子 (60歳) 四国ブロック：高知県
 薬大を卒業後、病院・薬局に就職され、現在、病院勤務薬剤師として後輩育成に努められている。昭和58年より高知県女性薬剤師会理事に就任し、会の運営、発展に貢献し、会員からも厚い信頼をうけている。



左から森栄子先生、山田満喜先生、山中るみ子先生、浅野照先生

第10回移動セミナー報告

“第10回 日本女性薬剤師会 移動セミナーin愛媛”を終えて

「第10回日本女性薬剤師会移動セミナーin愛媛」は、平成24年11月4日(日)に松山市立子規記念博物館において開催し、北は青森から南は沖縄まで、多数の皆様のご参加で盛会裏に終えることができました。愛媛県女性薬剤師会会員にとりまして大きな喜びでございます。

第9回は、東日本大震災発生の為、東北での各種大会が中止になるといった状況のなか、移動セミナーは回を絶やすことなく、東北ブロックの皆様が力を結集して青森で開催されました。元気になろうと頑張っておこなわれた東北の皆様は感動し、愛媛での開催には元気になった東北の先生方にもぜひ参加いただきたいと願って準備いたしました。

「保健・医療・福祉の架け橋になろう」をメインテーマに、男女の別なく広く薬剤師や薬学生、また医療関係者にも参加を呼びかけ「媛の国から、未来に向けて発信」をサブテーマに、記念講演・特別講演・基調講演・ランチョンセミナー・シンポジウム・パネルディスカッションを行いました。記念講演では、松山市立子規記念博物館 竹田美喜館長から「子規の最期 糸瓜の水も間にあはず」と題した講演に皆様感動されたようでした。故郷松山を愛した正岡子規の終末期の過ごし方をお聞きいただき「在宅医療や介護の在り方を現在に照らし合わせてみる機会になったのでは」と考えます。特別講演では、国立病院機構四国がんセンター 統括診療部長 谷水正人先生に「がん診療と地域連携」と題し、四国がんセンターにおける地域医療連携センターや、がん診療における地域連携の未来図について講演いただき、今後薬剤師が取り組んでいくべき方向を示していただきました。基調講演では、愛媛県今治保健所所長 廣瀬浩美先生に「お薬からどうつながっていくか?保健所長のひとりごと」と題して講演いただき、医師の立場から薬剤師への提言がありました。前夜祭の交流会は、道後温泉ふなやにおいて、愛媛県知事はじめ多数の来賓ご出席のもと賑やかに開かれ、愛媛出身で現在アメリカで活動中の古佐小基史氏のハーブと、宮城道雄作曲家 松本安也子氏の箏の演奏の初コラボレーション“春の海”をお聴きいただきました。

エキスカッションでは、低部焼祭り・坂村真民記念館観光やしまなみ海道観光で、愛媛の伝統工芸、文化、歴史、自然に触れていただけたことと思います。

第1回の秋田に始まり、愛知・神奈川・高知・長野・佐賀・岡山・富山・青森の開催県会長がすべて参加していただき、実に記念すべき第10回移動セミナーになりました。

開催の機会を与えてくださいました日本女性薬剤師会や全国からご参加の皆様、ご指導、ご協力くださいました各方面の方々へ心より感謝申し上げます。



県知事を囲んでハーブに合わせて“この街で”を合唱。

愛媛県女性薬剤師会会長
渡部 シゲ子

平成25年度 行事予定

- | | |
|-------------|--|
| 6月15日(土) | ●平成25年度 定時社員総会
●全国会員交流会の開催 |
| 6月16日(日) | ●功労賞・学術奨励賞表彰式の開催
●2013年度 日本女性薬剤師会学術講演会の開催と展示発表会 |
| 11月 3日(日) | ●第11回 全国移動セミナーin 群馬交流会 |
| 11月 4日(月・祝) | ●第11回 全国移動セミナーin 群馬 |

薬剤師継続学習通信講座 旧診療ガイドライン・薬剤コース

認定薬剤師になろう!!

男女を問わず薬剤師としての自己研鑽への支援として、最新の専門的な情報をわかりやすく解説し、科学的な考え方を学ぶことができる薬剤師継続学習通信教育講座を開講します。通信教育で受講すれば、毎年15単位取得できるようになりました。さらに各単元について小論文のプレ教育で2単位取得できます。

シリーズ1	シリーズ2	シリーズ3
疾患別アプローチ	もう一度剤形を学ぼう	漢方薬を科学する

学習スケジュール	学習スケジュールは予告なく変更する場合があります。
平成25年 4月	結核：古くて新しい病気
5月	白癬症：見落とさない! 誤診しない!
6月	薬疹：その皮疹は薬疹ではないか?
7月	乳がん：治療の基本原則の理解
10月	パーキンソン：様々な症状に対応する薬物の評価
11月	小児ぜんそく：症状の完全コントロールを目指す
12月	救命救急：いざというときのために
平成26年 1月	不整脈：治療薬の選択と副作用

※8・9・2・3月はスクーリング講座への出席と復習にあてます。

学術講演会

くすり・クスリ・Drug 未来世代への警鐘と新たな薬への期待

WHO(世界保健機構)は「薬物依存症は病気」と定義しています。日本では、薬物依存症患者を犯罪者として処罰はしても「病気」として医学的知識による回復の手立てが遅れていました。幼いこどもにまで影を落とす違法な薬物の乱用だけでなく、医療機関を複数受診することによる医薬品の重複や誤ったセルフメディケーションにおける医薬品の選択について薬剤師として取り組んでいくことが重要です。一方、夢の「再生医療」「オーダーメイド医療」を実現する「iPS細胞」は、実用化に向け、研究が進んでいます。iPS細胞から期待される「新たな薬」について最先端医療を学びましょう。

若者の薬物乱用を防ぐために薬剤師にできること。

独立行政法人国立精神・神経センター精神保健研究所薬物依存研究部診断治療開発研究室長/自殺予防総合対策センター副センター長 松本 俊彦 先生

薬物依存症からの回復と援助

日本ダルク本部ディレクター(前 沖縄ダルク代表) 三浦 陽二 先生

ヒトiPS細胞の創薬応援

株式会社リプロセル 代表取締役社長 横山 周史 先生

ランチョンセミナー

リウマチの薬物治療 中外製薬株式会社
 ジェネリック医薬品とエルメッド エーザイ株式会社 エルメッド エーザイ株式会社

展示

広げよう 女性薬剤師のネットワーク

主催 一般社団法人 日本女性薬剤師会
 日時 平成25年6月16日(日) 会場 星薬科大学 メインホール
 9:00 開場 東京都品川区荏原2-4-41
 対象 全国の薬剤師・薬学生 取得単位 日本女性薬剤師会認定単位(G16)4単位
 申込方法 ホームページからご案内 <http://www.jyoyaku.org>

第11回 移動セミナー in 群馬

保健・医療・福祉の かけはしとなるよう

～今ふみ出そう次のステップへ～

基調講演 これからの薬剤師像 堀内龍也先生
 講演 ① 明日の薬剤師へ 三輪亮寿弁護士
 講演 ② フィジカルアセスメント関連
 シンポジウム 3演題
 ポスター発表

日時 平成25年11月4日(月)
 9:30～15:50開催

会場 伊香保温泉 福一
 渋川市伊香保町伊香保甲8

交流会 平成25年11月3日(日)
 18:30～20:30

申込方法 ホームページからご案内
<http://www.jyoyaku.org>



全国に広がる「フィジカルアセスメント講習会」

副作用の早期回避を目的とした薬剤師によるフィジカルアセスメントの重要性が認識されはじめました。それにともない、各地でフィジカルアセスメントに対する取り組みは活発化し、すでに在宅の現場で実践している薬局も登場しています。

日本女性薬剤師会においても積極的な研修が行われており、「フィジカルアセスメント講習会」は全国へと広がっています。



岡山県

医療機器メーカーの協力、指導を得て、臨床的技術を学習しました。日頃経験の少ないIVH(中心静脈栄養法)の操作、混和方法には特に真剣でした。



体温測定は体温計を真下から腋にいれているところがポイントです。

佐賀県

バイタルサインの見方と呼吸音、正常な心音の聴診、全身の視診を学ぶ。

医師の真意、医師・薬剤師連携の必要性、患者教育、サプリメントに関する対応など相互に多様な確認ができた。



看護学校の実習室で血圧測定実習をしました。

富山県

特別講演「薬剤師が知っておきたいバイタルサイン」

講師：株式会社エムワン 代表取締役 村井 俊之 先生

講演のあとグループに別れ、68歳の患者さんの「診療情報提供書(架空)」を渡されたときの対処法を次の4点のアドバイスを基にディスカッションしました。

- ①患者さんの状況は想像できましたか?
- ②時系列でとらえましょう
- ③薬剤師として確認すべきことを列挙してみましょう
- ④優先順位を考慮しましょう

新しい試みの講習会でしたが、受講者からも活発な意見が飛び交い、非常に有意義な講習会となりました。これからも“今、私たち薬剤師に求められていること”を強く意識しながら講習会に臨みたいと感じました。



長野県

フィジコで正常呼吸音と異常呼吸音の違いを聞く。

- 1人ずつ聴診器を持って、薬剤師が講師を務める。
- 地元の看護学校で、仕事が終わった夜間に実習。
- 水銀血圧計と脈拍の手法も学ぶ。



青森県

高機能患者シミュレータを用いた研修会。残暑厳しい中、24名が受講しました。青森県立保健大学の実習施設をお借りして午前中は基本的な知識の習得と会員同士での血圧測定など、午後は患者シミュレータを4台も使用し、様々な症状を何度も繰り返し実習しました。

北海道

北海道では、臨床医による「フィジカルアセスメント研修」を各地で開催しています。これまでに、札幌、旭川、北見、滝川で開催しました。2月には、札幌で第2回目の開催を予定し、函館でも開催の準備を進めています。

宮城県

「薬剤師によるフィジカルアセスメント～各バイタルサインの意味すること～」

去る1月20日(日)、仙台医療センター勤務の医師で薬剤師の資格をお持ちの渡辺久美子先生に講師をお願いし、標記テーマの講義と実習を行った。参加者は男性も含め31名。講義の後は3グループに分れ、簡易血糖測定器の実習、水銀血圧計による血圧測定、体温、脈拍、呼吸、動脈酸素飽和度、瞳孔、むくみ等バイタルサインの測定について実習した。



群馬県

2月に看護師さんを招いてバイタルサインの実習研修。血圧測定のカフのあて方や聴診器の使い方をみんなで学びました。



埼玉県

2013年1月27日(日)講習を実施。薬局カウンターでも基本のバイタルサイン確認ができるよう、演習中心に行われた。アネロイド血圧計によりコロコフ音を聴き血圧測定中(写真)。他に自己血糖測定、動脈酸素飽和度、心音、呼吸音測定など実施。修了証を授与した。



東京都

理学療法士が実践している高齢者の身体機能アセスメントを学ぶ! 2013年1月13日(日)に、北里大学薬学部と医療衛生学部、東京消防庁のご協力を得て、40名が初期救命救急処置、バイタルサイン確認、心音・呼吸音・腸音の聴診、上肢の運動機能評価の研修に臨みました。意外に湾曲している自分の上肢の現状に年齢を感じながら、高齢者の運動機能評価の一端を実習しました。アセスメント技能は暗記しても使えず、体得するもの。繰り返しによる技能向上・維持が必須です!



神奈川県

テルモメディカルプラネックスで在宅業務のトレーニング! 2012年9月30日(日)に、病院や居宅と同等の医療環境を再現した空間で医療従事者の実践的なトレーニングができる施設「テルモメディカルプラネックス」にて、混注体験、在宅体験、施設見学を実施しました。



愛知県

愛知学院大学と共催しました! バイタルサインの基礎(体温測定・脈拍・SpO2・血圧)、フィジコによる呼吸音・心音の確認、簡易検査機器による測定実習(HbA1c、PT、PTINR、GOT、GPT、γGTP、T-CHO、TC、HDL、TG、Glu)など興味深い内容でした。



愛媛県

東温市緩和ケア懇話会における医療用麻薬に関する勉強会。



東温市の保険薬局薬剤師の先生方



第45回 日本薬剤師会学術大会 in 浜松 “女性薬剤師交流会” の報告



第45回日薬学術大会 in 浜松 “女性薬剤師交流会” が浜松クラウンホテル3階「松の間」にて平成24年10月6日(土)、18:30より20:30まで開催された。児玉孝日薬会長はじめご来賓5名をお迎えし、政界復帰を宣言した「とかしきなおみ」氏の乾杯の発声で宴に入った。静岡県薬・浜松市薬のご協力の下、楽器の街「浜松」の華やかなアトラクションを楽しみ、総勢77名で東北支援ソング「花は咲く」の大合唱で盛會理に幕を閉じた。